

## 【感想・気づき】

今回、原田メソッド認定パートナー養成塾を受講したきっかけは、介護業界においての、人材育成が急務となっていること。若い世代だけでなく、夢や目標を描いてそれに向かって日々行動をしている人が周りに少ない現状がありました。私は介護の専門職向けに講義をする機会や、自職場の部下に対して育成、指導をする立場にあります。また、コーチの資格を取得して、コーチングを提供していました。「一流の達成力」の本を読んだ時に、今まで、可視化できなかったことが、ツールとして、準備されていることに非常に魅力を感じました。また、自分自身のさらなる成長と、知識、技術が習得できると思い、今回受講しました。

私は通信2回通学3回で養成塾を受講しています。両方のメリットを大いに感じていますが、順に振り返っていきたいと思います。まず初めに、付箋を書き出すことはとても新鮮でした。先生に言われたことや答えを書き出すのではなく、自分自身が気づいたこと、感じたことを書くことは、後から読み返しても思い返しやすかったです。実際に、付箋を見返すと、自分自身がその時に、何に感情が動いて、キーワードを書き出したのか、自分の目標や課題とどのように結び付けて聴いていたのか、思い返すことができ、記憶の定着化を実感することができました。

また書き出す事の意義も強く感じました。私は字が下手で、基本的にパソコンで書類作成をしていましたが、手書きで何度も書き直すことで、その度に思考を繰り返し整理ができました。普段、人より物事を考えているつもりでしたが、質問をされることで、思考、言語化することの難しさを痛感しました。自然と分かったつもりになっている事が理解できました。

目的・目標4観点、長期目的・目標設定用紙、オープンウィンドウ64を実際に書くことで、本を読んだだけでは、理解出来なかった事を、実感できました。先生方が話している通り、アウトプット方の教育となっていたので、とにかく実践して、気づきを共有し、わからない事はカンニングする。インプットからアウトプットまでが早いことで、学びが深まる感じがしました。自分自身が実践したことで、どのように部下に指導し、職場に落とし込んでいくか、イメージすることが出来ました。

1回目より2回目、2回目より3回目と見直し、書き直していく事で、さらに思考が整理され、時間短縮に綱がり、より精度が高まりました。自分で立てた目標に対して、ルーティンチェック表で1日の行動を振り返る。

日誌で予測と準備、振り返る作業を行う中で、「毎日の行動に言い訳せず、続けると忍耐力がつく」との言葉を忘れないように日々やることをすべて行うよう心掛けました。結果としてはルーティンチェック表に掲げた行動に対して、高い数値で達成することは出来ました。